関西福祉大学 ― 建学の精神「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」 ―

図書館だより

Information Wave No.26 2015年

第26号 2015年9月20日発行

関西福祉大学図書館

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3 Tel.0791-46-2506 Fax.0791-46-2535



いつも読みかけの本がポケットに入っている学生を育てたい

関西福祉大学 学長
発達教育学部 教授　加藤　明

小学校の教師をしていた頃のことです。クラスの子が熱を出したので迎えに来たお父さんが、授業が終わるまで教室の前のベンチに座ってポケットから出した新書版の本を読んで待っておられました。私は、すてきなお父さんだなと感心し、今でもそのときの情景を覚えています。また、年度末の文集に「お正月の楽しみ」と題してあるお母さんが「読みかけの本と大好きなおやつを持ち込んで、こたつに潜り込むのが私にとってのお正月の楽しみ」と書いておられるのを読んで、こんなすてきなお母さんに育てられる子どもはきっといい子に育つと思ったものでした。その子は、京都の大学に進み、大学時代はカルタクィーン戦に出場していました。

その小学校は手塚治虫氏の出身校なのですが、講演に来ていただいたときに「私の小学校の思い出は、この小学校の図書室の本を全部読んだことです。」と後輩にあたる子どもたちに読書をすすめておられました。日本のレオナルド・ダ・ビンチを生み出したのは、この小学校の図書だったかと感心した次第です。

近頃は電車に乗っても、スマホを片手にもっている乗客がほとんどですが、そのなかに読みかけの文庫本を出して読んでいる人を見るとほっとします。日本もまだまだ捨てたものじゃない、知性の灯は消えてはいないと。

本学では今、教養教育の改革を推進しています。先人からの豊かな文化というバトンをしっかりと受け取り、一歩でも先に進めて次の世代にバトンタッチする文化創造の力をどうすれば育成できるか。文化を教養として自分の人格を完成するための耕しの力にするためにはどのような指導をすればいいのか。伝えて味わわせたい文化の内容にとどまらず、その内容に即してどのような知識や技能、資質、能力を育てるのか、シラバスの充実と効果的な授業のあり方、そして評価の仕方も含めて議論の最中です。

そしてそのような改革と相補する形で、読みかけの本がいつもポケットや鞄に入っている学び続ける知識人を育成したいと考えています。読書は、音声言語による直接的なコミュニケーションの基盤を形成するものであり、「書く」と相まっての文字言語は、感性、想像力、語彙を豊かにしながら表現力を育成する認識、思考の道具だからです。

近　刊　著　書

教育的思考の作法5 教育哲学の課題「教育の知とは何か」 ―啓蒙・革新・実践

発達教育学部 教授　森川 直



著者：小笠原 道雄 編
出版社：福村出版
発行年月：2015年 6 月

近代教育学の再考から現代教育学の実践まで、多様な観点から教育哲学の課題に迫る論文集。Ⅰ啓蒙、Ⅱ革新、Ⅲ実践の３部構成からなり、紹介者は、第Ⅰ部第１章「近代教育学再考―ルソー・汎愛派・ペスタロッチー」を担当している。

最近のポスト・モダン論議のなかで、近代以降に積み重ねられてきた教育制度や教育思想の枠組みが批判され、その批判の矛先が近代教育（学）に向けられている。このような論議のなかで、近代の根源に立ち返り、近代教育学に内在すると見られるパラドックス（逆説）をめぐって、ルソー、汎愛派、ペスタロッチーに焦点を当てて見直しを試みたものである。

18世紀近代を代表する人物の教育思想の考察を通して、「近代化の危機」のなかで教育に内在する根本的な矛盾を克服する道は、子どもたちの「未来」を志向し、教育の「実践」を新たに創造していく以外にはない、ということを明らかにしている。

事例で学ぶスーパービジョン ―対人援助の基礎知識・技術を通して

社会福祉学部 准教授　谷川 和昭



著者：吉弘 淳一、横井 一之 編著
出版社：建帛社
発行年月：2015年 3 月

「携わる職業のなかに人間関係があるところ、スーパービジョンがある」と言われています。スーパービジョンとは、さまざまな関係性のなかで起こる問題や対応困難な事象に対して、スーパーバイザーから教育・管理・支持を受けたスーパーバイジー（学生、新人職員など）がより豊かな実践ができるようになっていくための１つの手段です。

本書はスーパービジョンの理論と方法を習得するためのわが国で数少ない研修テキストであり、スーパーバイジーのモチベーションを高めることを目的に出版されました。

全体は 2 部構成で、第 1 部の「理論編」では、スーパービジョンの効果的な活用と課題、機能、カウンセリング、ケースワーク、対人援助の基本技法、アプローチ、そしてストレスとその対処方法が述べられています（全７章）。このうち私の執筆分担は「ケースワーク」（第４章）でした。また、第 2 部の「実践編」では、保育所、学童保育所、児童養護施設、精神障害者施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所、子育て支援センターその他のプロトコール（逐語記録）やスーパーバイザーによる解説入りの事例で構成され（全 10 事例）、スーパービジョン研修の受講者 17 名による生の声（感想）も収録されています。

以上、自己覚知の方法とストレスマネジメントについても加味した総合的な内容となっているのが本書の特色と言ってよいでしょう。多くの現場では、効果的で質の高い実践の必要性が高まってきていますので、読み手に役立ち、活用されることを願っています。



新しい日本の歌6

発達教育学部 教授　古瀬 徳雄



著者：古瀬 徳雄 作曲
出版社：マザーアース
発行年月：2014年11月

「滑車」の詩は、多面的な意味をもち、空想が拡散していくことから、表現を統一するために12音技法を用いることにした。この技法はシェーンベルクが完成者であるが、その萌芽はすでにバッハにもある。12の音の組み合わせは、12の階乗の数字上の可能性があり、詩に内在する精神を表出する基本音列を選び抜くことが、本質的な問題となる。結晶となったのがh-es-fis-c - cis-d-f-gis - b-a-g-eの音列である。４音ずつの３群に分ければ、a群は増音程からなり、b群は５度内に４音を配し、c群はその反進行とする特性を構成原理に活かし、声楽部、伴奏部ともにゆるぎなく張り巡らして作品にした。

「跳躍」は、上下運動のエネルギーの表れであり、人生もその比率の変動により、活性、衰退、維持が繰り返される。その様態を歌では、音程を７、８度と空間を跳ね上げ、伴奏では、反進行によるオクターブで強奏を重ね、音域も拡大し巨大な音塊となった。しかし、音の膨張だけでは、身動きがとれない。この詩は、跳躍の基盤であり支点となるキックボードが、実は自身に存在することを行間に暗示している。終結部の後奏に前奏を逆進行により再現することで、生きることの絶えざる継起が、普遍的な裡なる営みの変動であることを示した。

子どもを育てない親、親が育てない子ども －妊婦健診を受けなかった母親と子どもへの支援

発達教育学部 准教授　井上 寿美



著者：井上 寿美、笹倉 千佳弘 編著
出版社：生活書院
発行年月：2015年２月

本書は、妊婦健診未受診妊産婦（以下、未受診妊産婦）と彼女らから生まれた子どもへの支援の糸口を探ろうとしたものである。「誕生する前から親の愛情を受けられない子どもがいる。子育て支援は妊娠期から必要」との問題意識で着手した未受診妊産婦の実態調査結果とその分析がもとになっている。

本書には6人の未受診妊産婦が登場する。機能不全家族で育っている進学校に通う高校生、同じく機能不全家族で育っている目立たない感じの中学生、貧困により援助を求める意欲すら低下している30代の既婚女性、所属集団の不適切な価値観に同調せざるを得ない30代の既婚女性、親の愛情を知らずにおとなになり中絶を繰り返す20代の未婚女性、自らの障害と家族の疾病等が重なり周りの人に頼ることをあきらめている20代の未婚女性、である。

未受診妊産婦は、医療関係者の間では「困った」人として捉えられてきたが、その生きてきた（いる） 関係状況からは「困っている」人としての姿が見えてくる。「困っている人」としての彼女らが、自らにかかわろうとする人を「傍らに在る人」として感受できるかどうかが支援の鍵となるであろう。そして、未受診妊産婦だけでなく、彼女らの親も含め、誰もが完璧な親にはなれないのであるから、子育てをめぐる親の第一義的責任論にからめとられずに社会全体で子ども育てる環境を創ることが、最も求められる支援であるというのが本書の結論となっている。

新任教員による
著書紹介



養護教諭養成講座
学校における養護活動の展開

看護学部 教授　津島 ひろ江



編集代表：津島 ひろ江
出版社：ふくろう出版
発行年月：2014年 4 月

今年の4月から、看護学部に就任いたしました。私の研究領域は看護学の中でも、学校保健看護という領域です。学部生には養護教諭免許状取得のための講義を担当しています。その教育の中で活用できる養護教諭養成講座「学校における養護活動の展開」を編集していますので献本いたします。この本は主として全国の看護系大学で養護教諭の専門性について教育している先生方との共同で出版したものです。内容は学校保健を学んでいることを前提にして、養護教諭の職務が22章で構成され、具体的展開の方法が記述されています。教科書の特徴として挙げられることは、各章末に最も新しい養護教諭採用試験問題を入れていますので、講義終了後には学生自らが解きながら学ぶということに配慮して編集していることです。この教科書で学んだ学生が、現職養護教諭となって、子どもたちと向き合ってくれていることを嬉しく思います。

コミュニケーションとしての身体運動

社会福祉学部 准教授　高田 哲史



著者：高田 哲史 著
出版社：丸善岡山支店
　　出版サービスセンター
発行年月：2008年 4 月

この本は基本的には哲学の本です。コミュニケーションというと、社会学や言語学などでよく耳にする言葉で、主に「伝達」という意味で使用され、発信者が受信者に伝達内容をどのようにメッセージ化して伝えるかという考え方に基づいていますが、この本で述べられているのは、自分の身体を中心とした自他のコミュニケーションが身体運動であるという考え方に基づいて、発信も受信も同じ私がするものであり、メッセージはなく共有内容があるだけだと主張されています。「言語」コミュニケーションは意味がひとり立ちしていますが、「身体運動」コミュニケーションは意味を自他共にしてつくるプロセスが必要であるとしています。皆さん『コミュニケーションとしての身体運動』を一度手にとって読んでみてください。目の前がパッと開けますよ。

座右のニーチェ
ー突破力が身につく本

発達教育学部 学部長・教授　秋川 陽一



著者：齋藤 孝 著
出版社：光文社(新書)
発行年月：2008年 6 月

「神は死んだ」「超人」などの言葉で著名なドイツの哲学者F．ニーチェ。私も学生時代に『ツァラトゥストラはこう語った』などを手にしたことがあるが、内容は理解できず「何だか過激な奴だな」と感じたことだけを思い出す。しかし近年、『超訳 ニーチェの言葉』など、ニーチェ関係の本（漫画本も）が多数出版されている。その“ニーチェ人気”の一つの火付け役になったのが、『声に出して読みたい日本語』で有名になり、今やテレビでもおなじみの教育学者・齋藤孝の本書である。

鬱々とした現代社会の中で、希望も見出せず、好奇心も摩耗し、学び・考えることもせず、リスクを恐れて立ち止まる臆病な人間が増えている。ニーチェの言葉には、このような人間を奮い立たせる力がある。それを著者（齋藤）はニーチェの言葉を引きながら訴えている。重たい気分で前向きになれない人には、お薦めの本である。

最後に、「学び」についてのニーチェの言葉を一つだけ引いておく―「行動者だけが学ぶことができるのだ」（本書pp.140－144参照）。

せんせいひみつやで

発達教育学部 助教　新川 靖



著者：鹿島 和夫 著
出版社：法蔵館
発行年月：1995 年 7 月

1995 年、私は教員になり山間地の学校に赴任しました。その学校の本棚に「一年一組せんせいあのね」という本がありました。発刊されたのは 1981 年。子供たちの素朴な詩と表情豊かな写真が掲載されていました。神戸市の小学校の先生である鹿島和夫さんが出した本でした。私は、この本を読み「時代によって子どもたちを取り巻く環境は変化するけれど、子供の素朴な思い（家族が好き、先生が好き、友だちが好き、自然が好き）はいつの時代も変わらない」と強く感じました。そして、翌年、2 年生の担任となった私は、学級文集として同じような冊子をつくってみたのでした。これは今でも宝物です。（もしかしたら皆さんの中にも小さいころに学校で「あのねちょう」に取組んでいた人がいるかもしれませんね。）

さて、本書では、鹿島和夫さんが選んだ子供たちの詩とそれにまつわるエピソードや自身の教育観が掲載されています。ぜひ、これから先生になろうとする皆さんに読んでいただきたい 1 冊です。

新任教員による おすすめ本



違和感から始まる社会学
－日常性のフィールドワークへの招待

看護学部 教授　**難波 峰子**



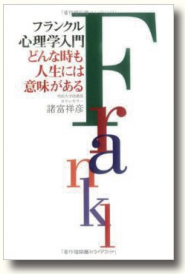
著者：好井 裕明 著
出版社：光文社（新書）
発行年月：2014年４月

日々の生活を「なんだかな？」と感じている人に、お薦めしたい書物です。

著者は、人はだれでも、日常生活を自分が自覚していなくても高度な「方法」をあたりまえのように駆使し、自分の「日常」が攪乱されず時間が過ごせるように生きており、この何気ない毎日の光景を切り取ることによって「あたりまえの日常を、当事者研究が生み出す知が変えていく」のだと述べています。本書は、毎日の生活の中で「あたりまえ」と考えていることの意味を、携帯電話、洗剤のコマーシャルや医者の信頼についてなどの多くの具体的事例を示しながら読み解いており、スムーズに読み進めることができます。この本を読むことによって、あなたのあたりまえの生活が違って見えるかもしれません。ぜひ一度目を通してみてください。

フランクル心理学入門
－どんな時も人生には意味がある

看護学部 講師　**藤原 光志**



著者：諸富 祥彦 著
出版社：コスモス・ライブラリー
発行年月：1997年４月

ナチス強制収容所の極限状況から生還したオーストリアの精神科医 V・E・フランクルの心理学入門書であるが、私のような素人でも読みやすく、心理学入門書というよりも「明日を生きるエネルギー」を与えてもらえる一冊。「どんな時にも人生には意味がある。なすべきこと、充たすべき意味が与えられている。」「人生は常にあなたに問いを発していて、あなたに発見されるのを待っている」これらの言葉に私はとても勇気づけられました。この不安定な時代の中で、自分の生きる拠り所を見つけたいと思っている方にはぜひ一読をお勧めします。

アサーション・トレーニング
－さわやかな<自己表現>のために

看護学部 講師　**吉田 民枝**



著者：平木 典子 著
出版社：金子書房
発行年月：2009年９月

これから援助職となられる皆さんが、さわやかな<自己表現>のために、繰り返し読んでほしい１冊です。

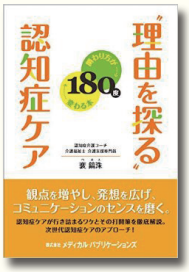
筆者である平木典子氏は、1979 年アメリカでアサーション・トレーニングを学ばれ、日本人に合うよう改訂し、発展させてこられました。

平木氏は著書の中で、「お互いを大切にしながら、それでも率直に、素直にコミュニケーションすることをアサーションといいます。アサーションは、私たちが望む自己表現とコミュニケーション、そして人間関係への鍵と言えます。」と書かれています。

この本は、アサーションについて基礎から学び、相互尊重の精神に裏づけられた自己表現法を具体的かつ明解に、さらに、充実した人間関係の持ち方についても書かれています。

"理由を探る"認知症ケア
－関わり方が180度変わる本

看護学部 助教　**明石 智子**



著者：裵鎬洙（ペホス）著
出版社：メディカル・パブリケーションズ
発行年月：2014年８月

認知症に対する本は、数多く発刊されています。その中で、この本は、これから認知症ケアをされる方、認知症ケアされている方に対して、ケアの目線を少し変えてみませんか？と問いかけています。

第４章に、認知症がある人の言動には「理由」がある。その理由を探るために求められる基本姿勢は、「認知症」をひとくくりにしないこと、自分の知識と経験の枠内で、相手を理解すると限界が生まれる。行き詰まる場面では、自分の枠外（見ていないこと、気づいていないこと）に手がかりがあるかもしれないという姿勢でいることが大切、と書いてあります。自分の価値観・枠内で判断すると、相手が本当に示しているサインを感じとれず、言動の「理由」を別の意味に解釈し、相手が求めているケアに結びついていないかも！…と、気づきが得られる本だと思います。

わたしがあなたを選びました

看護学部 助教　**藤井 弓加**



著者：鮫島 浩二 著
出版社：婦人生活社
発行年月：2002年10月

この本は、産婦人科医が書いたものです。約10年、お産の現場でお母さんたちのさまざまな経験に接して感じ、蓄積していた思いを湧き上がった感情により描出したもので、妊娠の継続を悩む人、障害児を出産した人などさまざまな問題で思い悩むかたにお渡ししたり、母親学級で朗読したりされていたそうです。

問題を抱えた妊婦でなくても、妊娠中の女性でなくても、また男性であっても、いろいろなことを思い、考えさせられる１冊です。自分が生まれてきたこと、親への思い、また妊娠したときの気持ちや子どもへの思いなどを想像したり、振り返ったりすることができると思います。

わたしが病院で助産師として働いていたときにも“この子はこのお母さんやご家族を選んで生まれてきたんだね”と話すことがたびたびありました。うれしいこと、楽しいことを共有し、つらいことを一緒に乗り越えていくことができる家族をわたしたちは選んで生まれてきたのだと思います。

絵本　地獄

看護学部 助教　**前田 美恵子**



著者：宮 次男 監修
出版社：風濤社
発行年月：1980年８月

人は死んだら、天国に行くのでしょうか？それとも地獄に行くのでしょうか？子どものころ「嘘をつくとエンマ大王様に舌をぬかれるよ」ということを聞いて、とても怖いと思ったものです。

今回、私がご紹介する絵本は地獄絵です。千葉県にある延命寺に所蔵されている16幅の絵巻をもとに構成されています。本文のストーリーは、室町時代につくられた「平野よみがえり草紙」などにより、白仁成昭さんが構想し中村真男さんが文章を起こされています。この地獄絵はいろいろな様相をもっています。見る人によって受け取る意味はそれぞれ異なってくると思いますが、これを見る子ども達が「死ぬことは、怖いことだ」ということを心に刻むことをねらいとしています。ぜひ、見て読んで下さい。

その先の看護を変える気づき
―学びつづけるナースたち

看護学部 助手　**片山 典子**



著者：柳田 邦男、
陣田 泰子、
佐藤 紀子 編
出版社：医学書院
発行年月：2011年７月

この本には、たくさんの物語がつまっています。

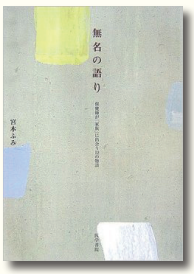
『看護』って本当に素晴らしい！この仕事を選んで本当に良かった！と素直に思える本です。

自分の看護観や看護を見つめ直すきっかけになると思います。私も臨床で働いていた頃、この本を読んでとても元気をもらいました。

看護学生のエッセイもあり、患者さんとの関わりがイメージしやすい内容になっているので、これから患者さんと関わる皆さん、ぜひ一度読んでみてください。

無名の語り
―保健師が「家族」に出会う12の物語

看護学部 助手　**森岡 有希**



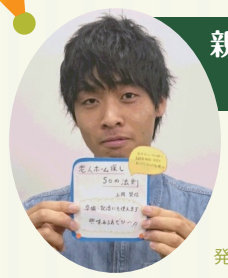
著者：宮本 ふみ 著
出版社：医学書院
発行年月：2006 年 10月

この本の著者、宮本ふみさんは東京都の保健師として働いていました。この本は、その時の体験をもとに、複数の事例を組み合わせてできた物語です。初期介入の技法や、関係維持の方法、ネットワークを構築し協働する手法など、随所に保健師活動技術が描かれています。

また、虐待、難病、ごみ屋敷、アルコール問題など、ここで紹介される 12編の物語は、決して特異なケースばかりではありません。様々な健康問題を抱え、苦しみながらも地域で暮らしている家族があり、いろいろな人がそれを支えているということを感じてもらえる本だと思います。保健師を目指している方だけでなく、看護や福祉、教育など、人と深く関わる仕事を希望する方にぜひ読んで欲しいと思います。

学生選書を実施しました

学生選書とは、学生の目線で図書館に置く本を選ぶという企画です。
特におすすめの本を紹介します。



親に薦めたい！自分も入りたい！ 老人ホーム探し50の法則

社会福祉学部４年生　**出川　洋己**

著者：上岡 榮信 著
出版社：日経BP社
発行年月：2013年11月

今、高齢化で多くのお年寄りが老人ホームを利用しています。この本は、数多くの高齢者施設を見てきたプロが、良い老人ホームを見つけるにはこういったところに注意をして探せばいいということを書いた本です。
老人ホームに入ってから、「思っていたのと違う…」「これなら他の所に入れば良かった…」と後悔したくありませんよね？
この本を見てみれば良い・悪い老人ホームがすぐ分かっちゃうかも知れませんよ。
また、卒論や就活にも役に立つと思うのでぜひ一度興味のある方は読んでみてください。



ローマ法王に米を食べさせた男 −過疎の村を救ったスーパー公務員は何をしたか?

社会福祉学部３年生　**植村　美咲**

著者：高野 誠鮮 著
出版社：講談社
発行年月：2012年４月

65歳以上の住民が半数を超える『限界集落』を救った、後にスーパー公務員と呼ばれる一人の市役所職員の数々のアイデアや成功させる方法などが、勢いよく書かれている本です。
過疎地域活性化としてやったことは、米をローマ法王に献上しご用達米に認定、Ｉターン若者の誘致、看板もない農家カフェを流行らせるなど。その発想力に驚かされるでしょう。
物語としても読みやすいので、ぜひ一度手に取ってみてはどうでしょうか。



ほぉ…、ここがちきゅうのほいくえんか。

発達教育学部１年生　**谷口　真心**

著者：てぃ先生 著
出版社：KKベストセラーズ
発行年月：2014年９月

皆さんは子どもの鋭い視点にハッとされることはありますか？著者であるてぃ先生はそんな子どもの感性豊かな言動をメモしていました。
てぃ先生とは、ツイッターに保育園での子どものエピソードを呟いている人気の男性保育士です。この本には、子どもの愛らしくて面白くて元気の出るエピソードがたくさん詰まっています。大人ではなかなか気づかない大切なことを子どもは教えてくれます。これを読むと子どもがもっと好きになる！幼稚園教諭や保育士を目指している方におすすめです。

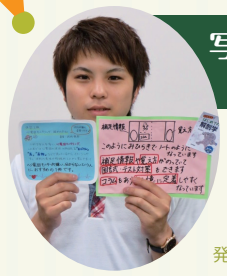


つらい子どもの心の本 −不登校･問題行動への対応マニュアル

発達教育学部１年生　**和田　史乃**

著者：赤沼 侃史 著
出版社：白日社
発行年月：2007年10月

大人は、不登校、家族内や学校で問題行動を起こす子どもを注意し、正しいであろう道に軌道修正しようとする。だけど、一向に改善されない…。もう大人も子どももどうしたらいいか分からなくなった時に助けてくれる一冊です。
子どもは小さな心ながらも、大人よりも遥かに感受性が強く、様々なことに左右されます。自分にもそんな子供時代がありながら、気持ちを理解できないのは悲しいことです。でも理解する事が難しい！あの時こう思っていて、こういう気持ちだったんだ！ということが後で分かることが多いですよね。でもそれでは遅いのです。子ども達はその間にも苦しんでいるのです。一刻でも子ども達を救いたいと思っているそこのあなた！是非、一度読んでみてください。



写真でわかる小児看護技術 −小児看護に必要な臨床技術を中心に

看護学部４年生　**井手　大晴**

著者：山元 恵子 監修
出版社：インターメディカ
発行年月：2015年１月

私が紹介する本は『写真でわかる小児看護技術－小児看護に必要な臨床技術を中心に（改訂第3版）』です。この本は、小児看護に必要な知識・技術がカラー写真と動画で「見て」「聴いて」わかるビジュアルブックです。２回生から育成期看護論が始まりますが、予習・復習にオススメです。演習や実習前に手技を学びたい人はDVDもついているので動画を見て練習することもできます。また、保健師課程をとり、母子訪問にいく学生にも参考になります。



明日の子供たち

看護学部４年生　**高瀬　愛子**

著者：有川 浩 著
出版社：幻冬舎
発行年月：2014年８月

小説の舞台は児童養護施設。主人公の新人職員、三田村が施設にやってきたところから物語は始まります。三田村の目を通して児童養護施設「あしたの家」で起きる、日常的な出来事に、職員たちは奮闘し、子供たちは懸命に生きていく様子が描かれ、施設を取り巻く様々なことが一連の物語として紡がれます。
この話は子供たちの悲劇にスポットを当てたり、単に職員の奮闘をドラマチックに描いたり、かわいそうだとか、悲劇だとかに視点を置いてはいません。簡単に言って諦める前に、踏み出せ！思い込みの壁を打ち砕け！というものが伝わってくる一冊です。
興味を持った人、ぜひ読んでみてください。本が少し分厚くて読む気が起きない人も第一章だけでも読んでみてください。きっと続きが気になるでしょう。

近隣高等学校との交流

インターンシップ





本学図書館では高校生のインターンシップを実施しています。新着図書等のデータ登録やカウンター業務など、図書館実務を体験できる内容となっています。昨年度は兵庫県立上郡高等学校と兵庫県立赤穂高等学校の生徒がインターンシップに訪れました。

また、今年度は８月４日（火）から６日（木）の３日間、赤穂高等学校図書部の生徒 14 名が職業体験を行いました。高校生からは「部活ではできないことが体験できた」「赤穂高校と関西福祉大学の本の受け入れ方の違いを知ることができてよかった」といった声がきかれ、初めての体験に目を輝かせていました。

古本掘り出し市

本学の大学祭「汐風祭」にあわせて、10 月 24 日（土）、25 日（日）の２日間、本学図書館と兵庫県立赤穂高等学校図書部との共催による古本掘り出し市を開催します。今年で３年目の開催となり、赤穂高等学校図書部の生徒と本学学生ボランティアとの交流も年々深まっています。

今年度は赤穂警察署からもご協力をいただき、収益金を「東日本大震災被災地の学校図書館支援※1」へ寄付するほか、古本の一部を「ホンデリング～本でひろがる支援の輪～※2」へ寄付する予定です。昨年度は 150 名の方にご購入いただき、収益金 28,700 円を「学校げんきプロジェクト※3」へ寄付しました。

これからも地域との連携を深め、地域とともに歩む図書館を目指します。





※1「東日本大震災被災地の学校図書館支援」
東日本大震災により被災した学校図書館の充実を図るために公益社団法人全国学校図書館協議会が行っている事業

※2「ホンデリング～本でひろがる支援の輪～」
認定特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワークが行っている、不要になった本を犯罪被害にあった方々への支援活動に活用する取り組み

※3「学校図書館げんきプロジェクト」
全国学校図書館協議会が東日本大震災で被害を受けた学校図書館の復興を支援するために発足したプロジェクト

情報発信

高校生への図書館開放

兵庫県立赤穂高等学校および本学と高大連携協定を結んでいる下記高等学校の生徒は、大学附属図書館を利用できます。詳しい手続きについては、図書館までお問い合わせください。

- 兵庫県立赤穂高等学校
- 兵庫県立上郡高等学校
- 兵庫県立太子高等学校
- 岡山県立備前緑陽高等学校
- 兵庫県立相生産業高等学校

（2015 年 8 月 1 日現在）

図書館ガイダンス

図書館資料の検索方法や論文の検索・入手方法について詳しく知りたい方は、ぜひ受講してください。

参加者からは「今後は必要な論文を早く見つけることができそうです（3 年）」「図書館をただ利用するだけでは分からなかったことが分かりました（1 年）」といった感想が寄せられています。

申し込みは図書館カウンターにて、随時受け付けています。

長期休暇期間の土曜日も開館します

かねてよりご要望がありました長期休暇期間中の土曜日開館につきまして、今年度より本学学生と高校生を対象に実施することとなりました。開館時間は通常授業期間中の土曜日と同様です。

詳しい開館日・開館時間は関西福祉大学図書館のホームページをご確認ください。

お問い合わせ先 TEL：0791-46-2506（図書館）　**図書館ホームページ** http://www.kusw.ac.jp/general/affiliated/library

編集後記

みなさんは相互利用というサービスをご存知ですか。

相互利用（本学学生対象）とは、必要な資料が本学図書館やデータベース等に無いときに、その資料を所蔵している他の図書館に閲覧・複写（コピー）・貸借の依頼をすることができるサービスです。

授業や卒業研究のために必要な資料が本学図書館にないという場合には、この相互利用を使って入手しましょう。なお、詳しい手続きについては図書館へお問い合わせください。皆さんの学業や研究を充実させるためにも、ぜひご利用ください。

最後になりましたが、今回も先生や学生の皆様に著書やおすすめ本等、様々な本をご紹介いただきました。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。（S）